



主な内容 ● Contents

「姫新線」をみんなの力で守ろう	・・・2～4
平成21年台風第9号災害 佐用町追悼式	・・・7
FlashNews (まちの話題)	・・・12～13
佐用町南光ひまわり祭り	・・・24

びるように



2011
9
No.72

「届け」復興への思い

町商工会青年部のメンバーで結成した音楽ユニット「shika2-4 (シカシカシー)」が東日本大震災復興支援ソング「光の中へ」「春の歌」を熱唱 (関連記事8頁)。





姫新線

をみんな

社会学習で姫新線を利用した
高年大学佐用教室の皆さん

増便の試行期間は残り7カ月
『姫新線』を将来へ残すためには
より積極的な利用が必要です

姫新線は昨年3月に高速化し、増便されました。増便は平成24年3月までの試行です。現行の便数を確保し、重要な公共交通機関として姫新線を将来へ残していくためには、より積極的な利用が必要です。

の力で守ろう

沿線自治体が高速化に併せ
駐車場整備や利用促進を展開

昨年3月のダイヤ改正から高速運行が始まったJR姫新線。JR西日本や沿線自治体（佐用町・たつの市・姫路市）、兵庫県が多額の費用をかけ高速化工事を行います。2年間の限定で増便試行されています。

佐用町をはじめ沿線自治体では、パーク&ライド（自宅から自動車で駅まで行き、駐車後、鉄道を利用して目的地へ向かうこと）の環境を整備したり、沿線市町で

組織する姫新線利用促進・活性化同盟会では「チャレンジ300万人乗車作戦」を合言葉に、観光パンフレットの作成や沿線ハイキングなど様々なイベントを開催し、利用を促進してきました。

今の乗客数のままでは
守れないかも

その結果、平成22年度の年間乗車数は、平成21年度の約238万人から約257万人まで伸びましたが、目標とした260万人には届きませんでした。今後、同



姫新線一口メモ

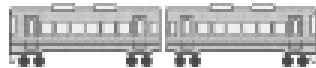
小学生以上の町民の皆さんが
姫新線を月に1回利用すると
年間約23万人以上の
増加が見込まれます

ひとり一人の利用が姫新線を守る力となります

チャレンジ
300万人
乗車作戦

乗車作戦！

応募はお早めに



10人以上のグループで
ご応募ください

上月▶姫路間
JR姫新線の往復切符を支給します

予算の範囲内で
先着順です

10人以上のグループでJR姫新線を利用する場合、先着順に上月～姫路駅間の往復切符を支給します。予算に限りがありますので、お早めに応募ください。この機会に、ぜひ姫新線を利用してください。

対象

町内にお住まいのかた、お勤めのかた、町内の学校に通っているかたで、10人以上が同時に利用する場合（※ただし、お一人様原則1回限り）

目的

- ①参加者の親ぼくを囲むこと
- ②他団体との交流を目的とすること
- ③沿線の社会学習施設、公共施設などで行う見学、体験
- ④地域活動、文化活動、スポーツ振興などを促進すること

※いずれも平成23年12月までに利用が必要

応募方法

企画防災課復興企画室にある申込書で応募してください。応募締め切りは9月30日(金)です。ただし、9月中のご利用は必ず20日前に応募してください。なお、予算範囲内とし先着順の支給となります。

問 企画防災課 復興企画室 ☎82-0664

↑
盟会が目標とする年間乗車数は、平成23年度280万人、24年度290万人、25年度300万人と段階的に増えていきます。少なくとも今の乗車人数では、便数の確保どころか以前の便数へ戻る恐れすらあります。

増便の施行期間は残り7カ月
皆さんの意識的な利用を

増便試行が終わる来年3月まであと7カ月。現在、佐用駅から姫

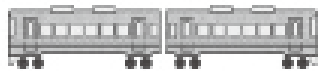
問 企画防災課復興企画室

☎82・0664

路駅に向かう便では、おおむね1時間1本に増便されています。試行期間の終了以降も、1本でも多くのダイヤを確保するためには、通勤・通学・買い物などの様々な場面で、一人でも多くの意識的な利用が必要です。『姫新線』を将来へ残すため、より積極的なご利用をお願いします。



播磨徳久駅に整備している17台の無料駐車場。このほか、三日月駅にも10台の無料駐車場を完備



佐用駅に集まれ!

10/1(土)

旬の味覚を食べに行こう

栗ひろいハイキング

- と き 10月1日(土) 午前10時～(受付) ※少雨決行
 - ところ 佐用町役場～豊福栗園 往復14km
 - 定員 先着300人
 - 参加料 200円 (栗のお土産付き)
 - 申込 9月26日(日)までに下記まで申してください。
 - 行程
 - 出発 午前11時
 - 到着 午後0時30分～午後1時ごろ
 - 到着後、栗ひろいとお弁当—
 - 地元産品が当たるゲームなど—
 - 復路 午後2時30分
 - 到着 午後4時～午後4時30分
- 到着後、自由解散
- その他
 - ・昼食など飲食物は、各自でご用意ください。
 - ・必ず姫新線をご利用ください(運賃は各自負担)。
 - ・ハイキング中の事故などには、一切責任を負いません。

■申込・お問い合わせ
企画防災課 復興企画室 ☎82-0664

姫新線

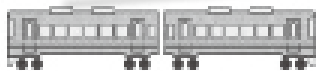
利用促進
イベント情報

太市駅に集まれ!



11/5(土)

余部駅に集まれ!



運転体験してみませんか

JR姫新線 車両基地見学会

- と き 11月5日(土)
午後1時30分～午後4時
- ところ JR姫路鉄道部車両基地
(余部駅から徒歩25分)
- 定員 先着100人
(応募多数の場合は抽選)
- 参加料 無料
- 申込 はがきに郵便番号、住所、名前、年齢、性別、電話番号を明記して、10月20日(日)までに下記まで申してください(※当日消印有効)。
応募は1通につき4人までとし、同伴者の名前、年齢、性別も記載してください(※電話での受付はいたしません)。
お車での来場はできません。必ず姫新線をご利用ください。

■申込・お問い合わせ
たつの市企画課 ☎0791-64-3141

10/29(土)

里山祭りと地域のふれあいを楽しもう

石倉峯相の里山祭りと 鶏足寺跡地を巡る ハイキング

- と き 10月29日(土) (雨天中止)
午前9時30分～
- ところ 姫路市石倉峯相の里周辺
(集合：太市駅)
※必ず姫新線を利用してください
- 定員 先着200人
- 参加料 300円 (たけのこ弁当付き)
- 申込 電話かFAXで、代表者の住所、名前、電話番号、参加者全員の名前と年齢を10月21日(日)までに下記まで申してください
- 行程
 - 集合・出発 午前9時30分
 - 鶏足寺跡見学し、石倉峯相の里で昼食・里山祭りの見学—
 - 解散 午後1時10分(予定)

■申込・お問い合わせ 姫路市交通計画室
☎079-221-2860 FAX 079-289-0588

新しくなった 情報のとびざら



9月1日、佐用町公式ホームページをリニューアルしました。町の様々な情報を発信する入口の一つである町のホームページ。町では、最新の情報をより正確に町民の皆さんに伝え、誰もがわかりやすく、利用しやすいホームページづくりを進めています。今後も引き続きご利用ください。

■ 佐用町公式ホームページ <http://www.town.sayo.lg.jp>

リニューアルのポイント

1 POINT 見やすいデザインに刷新しました

統一感、安心感をもって見ていただけるように、文字の大きさや色など、基本デザインを統一しています。

また、災害時には、災害時用のトップページに切り替え、必要な情報を迅速に発信します。

2 POINT 最新の情報を発信します

それぞれの業務を担当している部署が、直接更新作業ができるようになったため、より正確で最新の情報を発信できるようになりました。

3 POINT 携帯電話サイトが誕生しました

携帯電話からも、佐用町のホームページをご覧いただけるようになりました。



QRコード

4 POINT メールマガジンを配信します

メールマガジンとは、パソコンや携帯電話から事前に登録を行うことで、登録者に対して町がメールで行政情報などを配信するものです。

現在は準備中ですが、配信できるようになりましたら、お知らせします。



「佐用町の水害
を忘れない」
防災訓練

一時避難所の上上月集会所から指定避難所の上月小学校へ
消防団員と誘導訓練を行う参加者の皆さん

防災訓練を通じて 地域防災力の強化を



低所救出訓練を行う消防署員。崖下など低い所
から引きあげて救出する想定で行われました



簡易土のう訓練の様子。土のうがなくてもプラ
ンターなどで代用でき、一定の効果があります

上月小学校区の住民の皆
さんを対象にした防災訓練
が、7月31日に行われ、約
360人が参加しました。
一昨年の水害から2年を
迎えるにあたり「佐用町の
水害を忘れない」と題して
行われたこの防災訓練で
は、消防署や県消防防災航

空隊、警察署、同校区の自
治会、消防団が連携して、
水害発生時の初期期の避難
行動やその手順などを確認
しました。
最初に行われた避難誘導
訓練では、防災無線の呼び
かけを合図に、住民の皆さ
んがそれぞれの一時避難

所である集会所などに集
合。安否確認を行った後に、
ロープにつかまりながら消
防団の誘導で上月小学校へ
避難しました。
その後、低所救出訓練や
車内救出訓練、防災ヘリ訓
練などが行われ、参加者は
防災意識を高めました。



平成21年
台風第9号災害
佐用町追悼式

自分たちで作った折り鶴を捧げる
町子ども会の児童たち

災害に強いまちへ もう一度決意を新たに

町は、一昨年の水害から2年を迎えた8月9日、さよう文化情報センターで「平成21年台風第9号災害佐用町追悼式」を挙行しました。ご遺族53人をお迎えし、参列者約300人が、一昨年の災害で亡くなられた20人のご冥福をお祈りし「真に災害に強いまちづくり」を進めることを誓いました。

まず、犠牲者名簿が慰霊塔の前で開帳され、その後参列者の芳名帳が、町自治会連合会会長の坂口榮さん（鎌倉）の手で捧げられました。

町は、一昨年の水害から2年を迎えた8月9日、さよう文化情報センターで「平成21年台風第9号災害佐用町追悼式」を挙行しました。ご遺族53人をお迎えし、参列者約300人が、一昨年の災害で亡くなられた20人のご冥福をお祈りし「真に災害に強いまちづくり」を進めることを誓いました。

まず、犠牲者名簿が慰霊塔の前で開帳され、その後参列者の芳名帳が、町自治会連合会会長の坂口榮さん（鎌倉）の手で捧げられました。

そして参列者全員で黙とうの後、庵迺典章町長と矢内作夫町議会議長が追悼の辞を述べ、藤原由成兵庫県西播磨県民局長、末松信介参議院議員から、それぞれあいさつをいただきました。その後、参列者全員で白菊の献花が行われ、亡くなられた人のご冥福をお祈りし、最後に、町子ども会連絡協議会の児童たちと保護者25人、こどもボランティアア武庫川の皆さん8人が、それぞれで作成した折鶴計1万3、770羽を捧げました。



追悼の辞を述べる庵迺町長



作詞・作曲した白井真さん（神戸市）の指揮のもと「しあわせ運べるように」を合唱する皆さん

水害に負けない

「強い絆きずな」で

しあわせを運ぼう

被災地に負けないように
さらなる復興を目指そう

CDの収益金は
東日本大震災の義援金に

8月9日、ウエスト神姫佐用出張所跡地で、「空き缶でもうけてもええ会」主催の復興ステージ「しあわせ運べるように」が開催されました。昨年も開催されたこのイベントには約500人が来場。最初に同会会長の盛岡敏明さん（栄町）が「東日本大震災の支援活動を通じて、被災者の皆さんから自分の町を何とかしたいという気持ちを感じた。佐用町も負けないように、さらなる復興を目指して頑張っていこう」とあいさつ。そして、阪神淡路大震災をきっかけに作られた歌「しあわせ運べるように」を佐用町バージョンにアレンジして合唱が行われました。

その後、町商工会青年部のメンバーで結成した音楽ユニット「shika2-4（シカシカシー）」の平井悟さん（大願寺）と延原誠さん（口長谷）が、東日本大震災の復興支援ソング「光の中へ」「春の歌」の2曲を披露。一昨年の水害で自宅などが浸水した平井さんは「困難を越えて、今笑うことができる。この声を東日本大震災の被災地まで届けたい」と集まった観衆の前で力強く熱唱しました。

なお、この2曲が入ったCDは「道の駅宿場町ひらふく」などで購入することができ、収益金すべてが東日本大震災の義援金に充てられます。



討論を行ったパネリストの皆さん

8/10
ひょうご
ふるさとづくり
交流会議
シンポジウム

ひとつ一つの 「つながり」が大きな力に

一昨年の水害や東日本大震災の復興支援などから地域の活性化を考える「ひょうごふるさとづくり交流会議シンポジウム」が、8月10日に佐用町商工会館で行われました。

最初に「空き缶でもうけてもええ会」事務局長の千種和英さん（中町）が基調講演を行いました。東日本大震災の復興支援に携わってきた千種さんは「復興支援は一人の力では何もできない。だが、地域やそれぞれの立場を越えて、それをつながり合わせることで、大きな力になることを学んだ。それは地域づくりも同じこと。普段の活動から交流を深めることが大切」と話しました。

普段の活動から交流を 深めることが大切

その後行われたパネルディスカッションでは、商工会青年部長北村広樹さん（上町）や復興支援ネットワーク淡路島代表の木村幸一さんから5人が討論を展開。阪神・淡路大震災を経験した木村さんが、宮城県七ヶ浜町での支援活動を報告。被災地のニーズに合わず廃棄予定の救援物資を淡路島に持ち帰ってバザーを開催。その収益金で新たな支援を行った事例を報告しました。パネリストからは「過去の復興支援の中身を学ぶことが早期の復興につながる」「被災地を思い、自分の地域に誇りを持つことが大切だ」といった意見が出されました。

救援物資をリサイクルし その収益金で新たな支援



楽しいダンスを見せてくれた
スターダストキッズの皆さん



ステージの演奏を聴く子どもたち



間伐作業を行う参加者の皆さんと指導する安本さん（右手前）

山と向き合おう

—— 山林を整備し、減災を目指す

学生やボランティアが 間伐作業に挑戦

森林面積が町全体の約81%を占める佐用町。山とともに暮らしてきた人たちの経験を生かして山林を整備し、水害による被害を少しでも減らすことを目的とする「奥海の森地元学実践講座」が8月7日、奥海で開講しました。

被災地NGO協働センター（神戸市・代表村井雅清さん）の主催で行われたこの講座には、阪神地区から学生やボランティアら11人が参加。午前中に行われた間伐作業では、チェーンソーを持った参加者が、安本文男さん（奥海）から指導を受けながら、スギやヒノキを次々に伐採しました。

一昨年の水害以降、佐用町のボランティア活動に参加している柚原里香さん（神戸市）は「チェーンソーを持つのも初めての体験。想像以上に間伐作業の大変さを知

りました」と額に流れる汗をぬぐいながら話していました。

今後は月1回程度で 講座を開催

午後から奥海クラブで行われた座学では、間伐作業を終えた学生らと奥海集落の皆さん約30人を前に、庵迺町長が「佐用災害を教訓に、山の大切さを学ぶ」、元武庫川流域委員会委員長の松本誠さんが「森・川（里）・海が循環した地域再生と国土づくり」と題して、それぞれ講義しました。参加者からは「山の荒廃を止めるためにも、水害で被害を受けた林道の再整備が必要」「森林などの再生可能な自然エネルギーを見直してみてもいい」といった意見が出されました。

なお、この講座は、今後奥海を拠点として月1回程度開かれる予定で、間伐作業をしたり、山に関する様々な講義を行ったりします。



○衣類の提供
 ※10月19日発送/冬物のジャケット・ジーンズ(各産地の自治体)からよぼう
 東日本特産品株式会社様より提供
 ○復興イベントへの参加
 ※9月13日、10月19日の復興イベントにて、名古屋名物「きしめん」のブース出展など



(写真上)
シンポジウムの様子

(写真左)
左から基調講演を行った関西学院大学教授
室崎益輝さんと討論を展開したパネリスト
の皆さん

8/21
佐用町
「感謝と交流
のつどい」

「ありがとう」を再び

—— 全国からの支援に感謝を伝える



(写真左) 7月31日に愛媛県で行われた書道パフォーマンスの全国大会「第4回書道パフォーマンス甲子園」に初出場した佐用高校書道部の皆さんが書いた作品。「絆」の字に復興への思いを込めました

災害からの復旧を支援してくださった全国の皆さんに感謝の気持ちを伝えるため、8月21日、さよう文化情報センター周辺で「佐用町感謝と交流のつどい」が行われました。

会場には、あいにくの雨にもかかわらず町内外から約1,000人が来場。お世話になった人たちに、心から「ありがとう」の気持ちを伝えました。



東日本の特産品が並んだ屋台には長い行列ができました



ふれあい喫茶では支援してくださったボランティアの皆さんと語りました

おりひめ文化ホールでは「災害ボランティア活動と被災地(者)の復興」と題したシンポジウムが行われ、東日本大震災の被災地支援活動の取り組みなどについて討論が展開されました。また、さよう文化情報センター周辺では、東日本の特産品などが販売されたふれあい屋台や佐用高校生による書道パフォーマンスなどが行われました。

最高だった「夢舞台」

橋本守くん（大酒）が甲子園出場

第93回夏の全国高校野球選手権大会で、橋本守くん（大酒）が香川県代表の英明高校の捕手として出場し活躍しました。

佐用スターズで活躍していた橋本くんは、上月中学校卒業後、香川県の強豪校に進学。努力の末にレギュラーを獲得し、県予選を勝ち上がり、見事甲子園出場を果たしました。8月9日の一回戦ではタイムリーを打ち、守ってもエースの松本投手を好リードするなど大活躍。チームも勝利しましたが、惜しくも2回戦で敗退しました。

高校最後の試合を終えた橋本くんは「甲子園は最高の夢舞台でした」と目を輝かせ振り返っていました。



1回戦糸満高校戦でタイムリーを打つ橋本くん

夏休みの大切な思い出

夏休み子ども体験教室

夏休み期間中、町内各地で木工や陶芸などの体験教室が行われました。

7月28日に三日月陶芸センターで行われた陶芸教室には、9組の親子が参加。湯飲みやお皿づくりなどに挑戦しました。

初めて陶芸に挑戦した参加者も、三日月陶作グループと高年大学三日月教室の陶芸部の皆さんから手ほどきを受けながら、それぞれ思い出に残る作品を完成させていました。

参加した三木保菜美さん、菜々実さん（中町）は「陶芸は初めてで難しかったけど、とても楽しかった」と笑顔を見せていました。



指導員から手ほどきを受け作品を作る子どもたち

「人権」について学んだよ

佐用保育園で人権教室

7月27日、佐用保育園で、龍野人権擁護委員協議会佐用部会による人権教室が行われました。

この取り組みは、幼いころから人を思いやる気持ちを育てようと、3年前から各地域の保育園で順番に開催。園児たちは、人権擁護委員による紙芝居や手遊びを使った手話などを通じて、人権について楽しく学びました。

紙芝居の感想を聞かれた園児たちは「おもしろかった」「感動したよ」とうれしそうに答えていました。



(写真左) 紙芝居をする人権擁護委員の皆さん
(写真下) 真剣な表情でその話に耳を傾ける園児たち





アユを捕まえる参加者の皆さん

夏のひとときを楽しむ

手をつなぐ育成会「アユ狩り大会」

7月26日、けんこうの里三日月で、手をつなぐ育成会による恒例のアユ狩り大会が行われました。

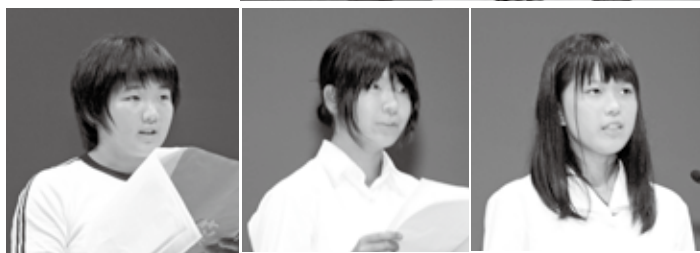
40回目の開催となるこの行事には、会員ら約80人が参加。佐用ライオンズクラブから寄贈された200匹のアユは、つかみ取りにした後、塩焼きにして参加者に振舞われました。その後ビンゴゲームや手品などが行われ、参加者は夏のひとときを楽しんでいました。

同会会長の木村政照さん（福沢）は、「長年続いてきたこの催しを、これからもみんなの手で大事に守っていききたい」と抱負を語りました。

(写真上)
あさぎり賞の伝達の様子



(写真下)
作文を披露した3人。左から岸本菜々美さん、眞島美紀さん、茅原妙さん



安心して暮らせるまちに

犯罪のない明るいまちづくり町民のつどい

7月27日、さよう文化情報センターで第61回目の「犯罪のない明るいまちづくり町民のつどい」が開催されました。

式典では、安全・安心の地域づくりに尽力された佐用警察署の妹山一也さんにあさぎり賞が贈られました。その後、三河小学校の岸本菜々美さん、上津中学校の眞島美紀さん、佐用高校の茅原妙さんが人を思いやる気持ちなどを題材にした作文を発表しました。

最後に、NPO法人兵庫県防犯設備協会の島田竜也さんの「目からウロコの防犯対策」と題した講演が行われました。

つながりを大切にしたい

幕山小学校で交流会

8月4日、幕山小学校の児童と県立舞子高校の生徒との交流会が行われました。

今回で3回目となるこの交流会は、一昨年の水害で児童たちが受けた心の傷をケアする手助けをしようと、全国唯一の防災専門リーダーを養成する舞子高校の環境防災科の生徒たちが毎年行っているものです。

参加した児童と生徒たちは、ドッジボールなどを通じ、交流を深めていました。

舞子高校の難波教諭は「自分たちのできることで支援していきたい。このつながりを大切にできれば」と期待を込めていました。



ドッジボールで交流する児童と生徒たち

保育園の規模適正化

**幅広い意見をお聴きする
ため意見交換会を開催**

学校・園規模適正化に関する説明会を、6月にすべての小学校区で開催しました。皆さんから寄せられたご意見などは、広報さよう8月号にまとめて掲載しています。

説明会を通じて、全体的に保育園に関するご意見があまり見受けられませんでした。そこで、幅広いご意見をお聴きするため、7月28日から9月6日まで保育園ごとに保護者の皆さんを対象に意見交換会を開催しています。

**子どもたちにとって
より良い保育環境を**

町内12保育園の園児数は、4月時点で424人と、7年前と比べ100人以上減少。園児にとって、保育園は日常生活の大半を過ごし、様々な人との出会う大切な場所です。1月に実施した意識調査でも、「規模が小さい」と考えている保護者も多く、就学前の子どもたちにとってふさわしい生活の場所とするために、より良い保育環境の構築が必要です。

**懇談会などを通じて
再編に関する町の考え方を
お知らせ**

意見交換会で出されたご意見やご要望は、できるだけ反映させて推進を図っていきます。また、再編後の保育園数や再編時期など再編に関する町の考え方は、懇談会などを通じてお知らせします。

なお、計画の推進にあたっては、学校規模適正化推進計画と同様に、保護者や地域の皆さんのご理解を得ながら推進し、子どもたちにとってより良い保育環境の提供と保育サービスの充実を目指して、その具現化に向けて取り組んでいきます。



8月18日の三河保育園意見交換会の様子

問 教育委員会 ☎ 82-2424

問 健康福祉課 社会福祉推進室 ☎ 82-0661

さよう文化情報センター開館10周年記念

俳句王国

公開録画

観覧者募集

■日時 11月5日(土)

開場：午後0時30分

開演：午後1時20分

■会場 さよう文化情報センター

■出演 【主 宰】宇多喜代子(現代俳句協会会長)

【ゲスト】未定

【司 会】塚原愛アナウンサー

■申込方法 入場は無料ですが、入場整理券が必要です。往復はがきの往信用裏面に、参加希望人数(1人または2人) 郵便番号・住所・名前・電話番号・『自由題で未発表の作品を1句』(投句は任意です。投句された作品の中から3句を



塚原愛アナ

NHKと佐用町では、さよう文化情報センター開館10周年を記念して、毎週月曜日午後9時30分からEテレ(旧教育テレビ)で放送中の「俳句王国」の公開録画を行います。

入場ご希望のかたは、次の要領でお申し込みください。

番組内で紹介します)を明記のうえ、次のあて先へお申し込みください。なお、返信用表面には、返信先を必ず記入してください。

※満1歳以上から入場整理券が必要です。

※返信用裏面には何も書かないでください。

※申し込み多数の場合は抽選となります。

【あて先】〒679-5380

佐用町佐用2585

佐用町役場生涯学習課「俳句王国」係

■応募締切 10月14日(金) 必着

問 総務課 広報室 ☎ 82-2549

Vol. 3

「3 R」って何だろう

2番目のRは、繰り返して使う Reuse (リユース)

限りある資源を大切に使うためにも、まずゴミを減らすことが必要です。ゴミを減らすためのキーワード「3 R」。今月号では、2番目のRである REUCE (リユース) について考えてみます。

Reuse (リユース) … 使えるものは繰り返し使う

フリーマーケットやネットオークションもリユースの一つ

リユースとは、一度使い終わったものを、そのままの形、同じ用途で、もう一度使うことです。例えば、古着や古本、中古家電などを売ったり、買ったりするのも、リユースです。最近は、フリーマーケットやインターネットオークションなどでも、中古品の売買が盛んに行われています。

中身が同じであれば、環境に負担が少ないリターナブルびんを選びましょう

もう一つ、リユースで注目したいのが「リターナブルびん」です。リターナブルびんは、使い

終わったびんをきれいに洗い、繰り返し使うガラスびんです。1回使ってすぐにリサイクルされるワンウェイびんと比べて、リターナブルびんは繰り返し使えば使うほど、環境に与える負荷が少なくなります。

リターナブルびんには、ビールびんやジュースのびんのほか、「R」マークが刻印された「Rびん」などがあります。中身が同じものなら、リターナブルびんのものを選んでみましょう。中身がなくなったら、リターナブルびんはお店に戻しましょう。



シリーズ ストップ温暖化

おばあさんの省エネ

今回は、あるおばあさんの省エネを紹介します。

おばあさんは台所に約15

秒×20秒に切った古布をストックしています。この布で食器や調理器具などを洗う前に汚れを拭き取ってしまふのです。そして、洗剤は使わずお米のとぎ汁で洗います。使い終わったとき汁は庭木や鉢物に散水します。

おばあさんにとっての省エネは生活の知恵であり、我慢してやっているというより、楽しんでいるように思えます。

私も彼女を見習い、楽しく省エネをモットーに取り組んでいます。朝、みんなが出かけた後、家電製品のコードを6本抜いて回ります。トイレのウォッシュレットのコードも抜きま

す。そして夜、みんなが寝静まったころ、朝と同じことをやっているのです。

もう一つ、掃除機の出番を減らせないかと思い、アクリル系の古布をモップがわりにして床掃除に使っています。床をなでるだけで良いのでとても便利です。

このたびの東日本大震災からはじまる様々な出来事は、私たちが一丸となって助け合い考えていかななくてはならない問題です。節電・節水も私たちができる一つの助け合いなのではないでしょうか。

※このシリーズは、町地球温暖化防止活動推進協議会の皆さんが交代で寄稿しています。

問 住民課 環境衛生対策室

☎ 82・0660



第5回 さようマラソン&ウォーク

ボランティアスタッフ

募集

さようマラソン&ウォークは佐用町の一大スポーツイベント。お手伝いいただくボランティアスタッフを募集します。

- 開催日 12月11日⑩ 雨天決行
午前8時50分開会（スタッフ午前7時集合）
- 場所 三日月中学校グラウンドほか
- 内容 駐車場係、受付係、給水所係、交通整理係、放送係、その他
- 応募資格 佐用町、近隣市町在住・在職、在学の中学生以上のかたで、スタッフ説明会に

- 参加できるかた（町体育指導委員会、体育協会などであらかじめスタッフ依頼しているかたを除く）。
- 申込方法 所定の申込書で申込みください。申込書は本庁、支所、出張所にあります。
- 応募締切 10月14日⑤まで
- 問 生涯学習課 ☎82-3336

末谷タマノさん（奥金近）が百歳

祝百歳

おめでとうございます
いつまでもお元気で



末谷タマノさん（中央）

末谷タマノさん（奥金近）が百歳を迎えられました。明治44年8月生まれの末谷さんは、大変お元気でご家族や施設の皆さんから温かい祝福を受けました。町からは、長寿お祝い金と花束が贈呈されました。

大会結果

熱戦が繰り広げられました

高年クラブ囲碁・将棋大会

7月27日、町高年クラブ主催の囲碁・将棋大会が、町生きがづくりセンターで開催されました。大会には囲碁の部に34人、将棋の部に9人が参加し熱戦を繰りひろげました。上位の成績は次のとおりです。

■囲碁の部

- 優勝 蔭山 寿（共楽高年クラブ）
- 準優勝 山口正道（久崎高年クラブ）
- 第3位 杵築俊昭（銀杏高年クラブ）

■将棋の部

- 優勝 笹谷宗司（円応寺・大願寺高年クラブ）
- 準優勝 西山孝博（田此高年クラブ）
- 第3位 横野 恵（櫛田第1高年クラブ）

10月から
粗大ごみ収集

クリーンセンターからお知らせ

ふとん・タンスも収集
粗大ごみ収集

秋の粗大ごみ収集が、10月から始まります。

「粗大ごみ」を出す場所は、通常のごみ集積場所とちがひ、各自治会で決められた場所となりますので、お間違えないようご注意ください。



収集品目や日程などくわしいことは、別に配布する「粗大ごみの収集について」のチラシをご覧ください。

19日・23日の祝日は
通常業務

直接搬入は、月々金曜の午前9時から午後4時30分までで、祝祭日も受付を行っていただきますのでご利用ください。収集も通常どおり行います。

問 佐用クリーンセンター
☎82・0293

参加者募集

智頭線完全制覇！スーパードライビング

第3弾 平福駅〜宮本武蔵駅編

■開催日 9月23日(祝)
※少雨決行。悪天候の場合、9月25日(日)

■募集人数 200人

■参加料 無料

■集合場所 平福駅(受付 午前9時)

■申込方法 はがきに名

前、年齢、代表者の住所・電話番号、延期の場合の参加有無を記入し、郵送してください。

〒689-1402

鳥取県八頭郡智頭町智頭2052の1 智頭急行(株) スーパーウオーキング係

※各駅に設置のチラシや

問 智頭急行株式会社
☎0858・756600

参加無料

文化協会佐用支部

第19回 観月の夕べ

お気軽にお越しください。参加無料です。

日時 9月11日(日)

午後5時～ お茶席
午後5時15分～
短歌・俳句・邦楽演奏 ほか

場所 生きがづくりセンター
(シルバー人材センター)

問 生涯学習課 ☎82-3336

素敵な出会いを

星の観察と秋の味覚で新しい出会い

このとりの会 出会いイベント 参加者募集

昼間の星観察会と佐用町の味覚満載のバーベキューで男女の出会いをプロデュース。出会いを見つけたいかたは、ぜひ参加してください。



日時 10月23日(日) (午前9時30分受付)
場所 西はりま天文台公園

■参加資格と人数

25歳以上の独身男女 各10人

※ただし、男性は町内にお住まいのかた

■参加費 男性4,000円 女性2,000円

■申込締切 9月30日(金)

問 企画防災課 復興企画室 ☎82-2460



模様替えした南光図書館

このたび、蔵書冊数の増加に伴い、郷土資料と文庫本の書架を増設し、図書の一部を移動しました。また併せて、南光図書室の模様替えも行いました。ご不明な点がありましたら、職員に気軽にお尋ねください。

図書館内に書架を増設 南光図書室は模様替え

すべての町民のくらしを応援します

としょかん



だより

佐用町立図書館

佐用町佐用 2585 TEL 82-0874(おはなし) FAX 82-0313

図書館 HP <http://www.toshokan.town.sayo.lg.jp>

E-mail toshokan@town.sayo.lg.jp

としよかんボランティア 「点訳サークル」点訳講習会

としよかんボランティア「点訳サークル」では、視覚障がい者の図書館利用をサポートするため、図書や絵本の点訳製作など様々な活動を行っています。このたび、点訳サークルによる点訳講習会を開催します。点訳に興味のあるかたや点字を製作してみたいかたなど、お気軽に参加してください。

■日時 10月5日(水)、12日(水)、19日(水)、26日(水)

午後1時30分～午後3時30分

■場所 さよう文化情報センター

■定員 先着10人

■対象 一般

■持参物 筆記用具

■参加費 525円

※テキスト代

■申込方法 9月20日(火)までに、図書館へ申込ください

おはなし会(5歳以上)

■日時 毎週日曜日

午後2時～午後2時30分

■9月のおはなし

「カンチルと巨人」

としよかんボランティア 「あそびせ隊」のおはなし会

■日時 毎週土曜日

午後2時～午後2時30分

■場所 図書館おはなしコーナー

■対象 幼児・小学生

■申し込み 不要

図書館カレンダー

9月 September 長月							10月 October 神無月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	2	3	4	5	6	7	8
4	5	6	7	8	9	10	9	10	11	12	13	14	15
11	12	13	14	15	16	17	16	17	18	19	20	21	22
18	19	20	21	22	23	24	23	24	25	26	27	28	29
25	26	27	28	29	30		30	31					

※色文字の日は休館日です。開館時間は午前10時～午後6時

ママプラザだより

乳幼児期にたっぷり遊ぼう

子どもが「寝る」「食べる」「遊ぶ」という生活リズムを整えると、気持ちが安定し、ぐずることがなくなり、毎日楽しく元気に遊ぶことができると言われていきます。「よく寝た」「おいしく食べた」「楽しく遊んだ」などの心地よい経験の積み重ねが、子どもの心を豊かにしていきます。

体を使つてのびのびと楽しく遊ぶことは、心も体もいきいきとしたのびやかになり、基本的な動作を身につけ、運動能力を高め、社会性や感性などいろいろな力をはぐくんでくれます。家族や友だちといっしょに遊ぶことで、子どもは「人とのふれあいを楽しみ」ということを覚えていきます。そして、コミュニケーション能力の基礎を作り、相手を思いやる心をはぐく

みます。子どもはいろんな人とかかわりながら成長していきます。家族とのつながりを基本に、少しずつ人とのふれあいを広げていきましょう。

また、自然とふれあうことは、五感を刺激するだけでなく、ほかでは得られない発見やたくさんの驚き、感動につながります。一日一回は外に出てみましょう。

お母さん、一人で頑張らないで、子育て仲間のみんなの力を借りて、子どもとのふれあいを楽しみましょう。

問 キラキラ子ママプラザ

☎82・4108

ビスラ子ママプラザ

☎86・1153

ひまわり子ママプラザ

☎78・0264

みかづき子ママプラザ

☎79・3788

新着図書案内

2011.7.18 ~ 2011.8.17 受け入れ分の一部



「粘土でつくる里山の小さな花と生き物」



「総理の原稿」



「隠れ家」

●大人向けの本

Excelのイライラ根こそぎ解消術 — 「思い通りにならない」と「面倒くさい」を克服

長谷川裕行／著 講談社

糸とはさみと大阪と

小篠綾子／著 文園社

総理の原稿

— 新しい政治の言葉を模索した 266 日

平田オリザ／著 岩波書店

東日本大震災 心をつなぐニュース

池上 彰／編 文芸春秋

食べ物の声を聴け!

魚柄仁之助／著 岩波書店

お江戸の結婚

菊池ひと美／著 三省堂

今こそ知りたい最新ガイド太陽光発電

水谷 仁／編 ニュートンプレス

京都・大阪・神戸とってもすてきな手芸屋さん

あんぐる／著 メイツ出版

「植えない」森づくり

— 自然が教える新しい林業の姿

大内正伸／著 農山漁村文化協会

粘土でつくる里山の小さな花と生きもの

川口紀子／著 NHK出版

しあわせ運べるように 白井 真／著 アスコム

これだけは知っておきたい言葉づかい

— 一時とともに言葉が変わる理由

竹林一志／著 笠間書院

WANTED!! かい人21面相

赤染晶子／著 文芸春秋

幸田真音／著 角川書店

財務省の階段

西条奈加／著 PHP 研究所

■ **四色の藍**

西条奈加／著 PHP 研究所

★ **春を背負って**

笹本稜平／著 文芸春秋

東京難民

福沢徹三／著 光文社

緑ヶ丘小学校大運動会

森谷明子／著 双葉社

恋かたみ

— 狸穴あいあい坂

諸田玲子／著 集英社

大江戸釣客伝 上・下

夢枕 獭／著 講談社

昔は、よかった?

酒井順子／著 講談社

隠れ家

— アンネ・フランクと過ごした少年

シャロン・ドガー／作 岩崎書店

●子ども向けの本

日本語を味わう名詩入門 1~4 あすなろ書房

カエルの目だま 日高敏隆／文 福音館書店

バタシー城の悪者たち (ダイドールの冒険)

ジョーン・エイキン／作 富山房

★は図書館と南光図書室に、■は図書館と三日月図書室にあります。

※上月図書室は、改修のため休館しています。

地域包括支援センター通信

認知症の人と家族の会 「ぼくれ ぼくれ」

昨年度、佐用町で要介護認定を受けたかたは約1,200人。そのうち、何らかの認知症状と見受けられたかたは約670人と半数以上にはのぼります。全国的にも認知症を発症されているかたは年々増加しています。認知症は医療分野でも研究が進み、介護サービスでも介護方法が見直されるなど、もはや特別な病気ではなく、だれもがなり得る病気として、社会全体で取り組みが進んでいます。

しかし、介護する家族からは、介護の悩みや不安などを周囲には話しにくいという声をよく耳にします。認知症の人と家族の会「ぼくれ ぼくれ」では、認知症のかたと介護する家族で組織された全国的な支援団体です。この会では、介護相談を自らの介護経験を通じて伝えながら、親身になって対応しています。

認知症のかたの介護について、周囲に相談できない不安や知りたいことなどがありましたら、相談してはいかがでしょうか。

「家族の会」電話相談窓口
☎ 0120・294・456
午前10時から午後3時
(土・日・祝日のぞく)

※「ぼくれ ぼくれ (POLE POLE)」とは、スワヒリ語で、ゆっくり・やさしく穏やかにという意味です。

問 地域包括支援センター
(健康福祉課健康増進室)
☎ 87・8020

献血のお願い

日本赤十字社では、病気やけがなどで輸血を必要としている患者の尊い生命を救うため、健康なかたに献血のご協力をお願いします。

■日時 **9月29日(木)**

午前9時30分～正午

午後1時15分～午後3時30分

■場所 佐用町役場

問 健康福祉課 (町保健センター) ☎82-2079

母子健康手帳の交付

母子健康手帳の交付は、上月保健福祉センターとさよう子育て支援センターで行っています。事前に保健師がいることを確認してからお越しください。

問 上月保健福祉センター ☎87-8020

問 さよう子育て支援センター ☎82-0341

9月9日は「救急の日」

—地域の救急医療を大切に

西播磨地域では、急病やケガの際に、安全・安心な救急医療受けられるよう医師会や医療機関などの協力で体制が整えられています。

救急医療は限りある社会資源です。大切に利用しましょう。

■救急医療を守るためにできること

- ・身近なところで受診できる「かかりつけ医」を持ちましょう。
- ・日ごろから健康管理に努め、具合の悪い場合は、なるべく医療体制が整っている平日の診療時間内に受診しましょう。
- ・症状が重篤である場合は、119番へ連絡しましょう。子どもの急病やケガで、救急を受診するかどうかわからない場合はご利用ください。

問 兵庫県小児救急医療電話相談

☎#8000 または 078-731-8899

相談時間 午後6時～9時

食育

みんなで食べよう!

「お米」と「まごわやさしい」

9月15日は敬老の日。日本は長寿国ですが、長寿と同時に健康寿命を延ばすことも大切です。そこで主食を「お米」にして、おかずを「まごわやさしい」でとるバランスのよい日本型の食事に見直してみましょう。

■おいしいお米

日中と夜の温度差によって、お米の栄養素となるでんぷんを多く含んだおいしいお米ができます。寒暖の差が大きい佐用町の気候状況では、よりおいしいお米ができます。

■伝統食材「まごわやさしい」

「ま」→まめなどの豆類は、たんぱく質やカルシウムが豊富です。豆腐や納豆などの加工食品も合わせて摂取しましょう。

「ご」→ごまは、ビタミンやミネラルが豊富です。

「わ」→わかめなどの海藻類は、カルシウムや食物繊維が豊富です。

「や」→野菜は地元で採れたうまみや栄養価が高い旬の野菜を食べるようにしましょう。

「さ」→魚は、脳の働きを活性化し、血液サラサラにする油を含んでいます。

「し」→しいたけなどのきのこ類は、食物繊維やビタミンDを多く含みます。

「い」→いも類は、ビタミン、カリウム、食物繊維が豊富です。

これらを取り入れた食事は、バランスよく栄養が摂取するだけでなく、体調を整えたり、免疫力を良くしたりして、生活習慣病の予防にもつながります。皆さんの食事にも「お米」と「まごわやさしい」を取り入れて、いつまでも健康で暮らせるように心がけましょう。

行事カレンダー

■ デイ・ケア（精神障がい者社会復帰訓練事業）

9月14日③

9月22日④

10月12日③

午後1時30分～午後3時30分

■ こころのケア相談（要予約）

9月8日④

午後1時30分～午後3時30分

※場所は佐用町保健センター

問 健康福祉課 健康増進室 ☎ 87-8020

■ こころのケア相談日（要予約）

9月16日⑤

午後1時～午後3時

■ 若者の心と体の相談（要予約）

9月16日⑤

午後1時～午後3時

※場所は龍野健康福祉事務所

問 龍野健康福祉事務所

☎ 0791 (63) 5142

赤ちゃん和妈妈の行事

★ 3歳児健診

（平成20年7月～平成20年8月生まれ）

9月21日③ 午後1時～

★ ヨチヨチ健康相談（平成22年9月生まれ）

9月16日⑤ 午後1時30分～

★ 4か月児健診（平成23年5月生まれ）

9月26日⑥ 午後1時30分～

★ すくすく健康相談離乳食教室

（平成23年3月生まれ）

10月6日④ 午前10時～

★ 0歳児クラス（2か月～1歳未満）

10月3日⑥

2か月～6か月児 午前10時30分～正午

7か月～1歳未満児 午前10時～午前11時30分

★ すてきなママになるための教室（妊婦）

10月3日⑥ 午前9時30分～

いずれも場所はさよう子育て支援センター

健康

自分でできるよ！生活習慣

3歳ぐらいの子どもは、歯みがきや着替え、おもちゃの片付けといった生活習慣を家族の助けを借りながら身につけていきます。

■ 生活の流れに沿って

子どもが行動できるサポートを！

朝起きて顔を洗ったり、食事の前におもちゃを片付けたり、寝る前にトイレに行ったりする1日の生活の流れを、子どもが自分なりに考え見通しを持って行動できるように、保護者の皆さんがサポートをしてあげましょう。

● 3歳の子どもが行う生活見通し（例）

朝の支度をしましょう

- ・顔を洗って歯磨きをする
- ・着替えをする など

ごはんの支度をしましょう

- ・おもちゃを片付ける

・手を洗う

・「いただきます」を言う など
お風呂に入る支度をしましょう

・おもちゃを片付ける

・下着やパジャマを用意する など
寝る前の支度をしましょう

・おもちゃを片付ける

・トイレに行く

・「おやすみなさい」を言う など

■ 片付けの習慣を身につけましょう

片付けは、生活習慣の自立を促し生活の区切りをつけ、分類、管理する能力や物を大切にする気持ちなど、子どもが社会生活を送るための基本を身につける上で大切な習慣です。

保護者の皆さんも、普段から片付けをすることを心がけましょう。子どもは、大人の真似をしながら片付けを身につけていきます。

1日付で「姫路地域センター」に再編されました。

新しいセンターでは、戸別所得補償制度等の農業経営安定施策や、農山漁村の6次産業化、食の安全・安心確保等の業務を行います。

なお、くわしい内容については下記までお問い合わせください。

問近畿農政局姫路地域センター
☎079-281-3692

行政相談を開設

10月17日(月)～23日(日)の行政相談週間に合わせて、行政相談所を開設します。行政相談員が行政に対するご意見、ご要望にお答えいたしますので、お気軽にご相談ください。

■開催日 10月19日(水)

■場所と時間

上月支所1階会議室
午前9時～午前11時
三日月文化センター
午後1時～午後3時

問総務課 総務人事室
☎82-2549

町観光協会 会員募集

豊かな自然をはじめとする町の様々な観光資源。その魅力を発信し、町のさらなる発展のために観光協会の活動に参加して下さる会員を広く募集しています。

●年会費

会社・法人・団体など 3,000円
個人会員 2,000円

問商工観光課 商工振興室
☎82-0670

人のうごき

8月15日現在 ()内は前月比

人口 19,820人 (△8)
男 9,491人 (△2)
女 10,329人 (△6)
世帯数 7,218戸 (△3)

8月中の移動

出生 9人 死亡 23人
転入 32人 転出 26人

お誕生おめでとう

7月16日から8月15日届出分 敬称略

名前 保護者 自治会
個人情報のため非公開

お悔やみ申し上げます

7月16日から8月15日届出分 敬称略

名前 年齢 自治会
個人情報のため非公開

己

ちょうみんカレンダー

9月上旬～10月上旬

月日	曜日	内容	場所	時間
9/8	木	高年大学南光教室	南光文化センター	10:30～
10	土	郡陸上競技大会	佐用高校グラウンド	8:45～
15	木	高年大学佐用教室	さよう文化情報センター	10:00～
20	火	高年大学三日月教室	三日月文化センター	10:00～
		高年大学上月教室	幕山地区センター	10:00～
			町保健センター	
21	水	行政相談	上月支所	13:00～15:00
			南光文化センター	
			三日月文化センター	9:00～11:00

◆猛暑が続いた今年の夏。東日本大震災の影響で「節電」の夏となり、よりいっそう暑さを感じました。◆この暑さに負けない熱い戦いが繰り広げられた夏の全国高校野球選手権大会。町内出身者として久しぶりに甲子園に出場し活躍した橋本守くん(関連記事12頁)。実際に取材で会ってみると、捕手というポジションでありながら、特別体が大きい印象ではありません。しかし、インタビュ中に繰り返し、「努力を積み重ねた」の言葉どおり、人一倍の努力によって幼いころからの夢をかなえました。◆8月9日の1回戦に勝利し「この勝利が佐用町にとって少しでも良い報告になったと思います」と話してくれた橋本くん。佐用町に元気と勇気をありがとう。⑤

編集後記



お知らせ

今月の納税

今月の納税相談日

9月26日(月)

■受付時間

午前8時30分～午後5時

■受付場所 役場本庁税務課

災害・盗難・疾病・失業や廃業などで納期限までに町税が納められない場合は、納税相談に応じます。

●税務課 収納管理室

☎82-0662

国民健康保険税 (普通徴収)

介護保険料 (普通徴収)

後期高齢者医療保険料

(普通徴収) 第3期分

納期限

9月30日(金)

●住民課 年金・保険室

☎82-0660

お知らせ

弁護士による 無料法律相談

■開催日 10月12日(水)

午後1時～4時

※相談時間は、一組30分

■場所 第2庁舎会議室

■申込方法 電話で申込みください(事前予約制)。

■募集人数 先着6組

●総務課 総務人事室

☎82-2549

募集

無事故・無違反運動「チャレンジ100」

参加チーム募集

■運動期間

10月1日(土)～平成24年1月8日(日)までの100日間

■申込方法

1チーム10人でチームを作り参加申込書を佐用警察署、または佐用郡自家用自動車協会に提出してください。

■申込締切 9月16日(金)

■表彰

無事故・無違反を達成されたチームには、警察本部長などから表彰状が贈られます。

●佐用警察署

☎82-0110

募集

県立障がい者高等技術専門学院

平成24年度 学院生募集

■募集科目 ものづくり科・ビジネス事務科・ビジュアルデザイン科・情報サービス科(※いずれも1年制)

■定員 各科とも10人

■応募資格

一般の能力開発施設において訓練を受講することが困難な身体などに障がいがあるかたで、次のすべての条件を満たしていること。

- ①障がいの状態が固定し、職業訓練を受けることによって再発や悪化のおそれがない。
- ②集団生活に支障がない。
- ③就業の意志があり、職業的自立が見込まれる。
- ④当該科の技能習得が可能で意欲がある。

※上記に該当しない障がいをお持ちのかたについては、下記までご相談ください。

■募集期間

9月26日(月)～11月2日(水)

■応募方法 公共職業安定所に応募書類を提出してください。

■選考日時 11月10日(水)

午前9時～午後5時

■選考場所

県立障がい者高等技術専門学院

■選考方法

学力(国語・数学)及び適性検査、作業機能検査、面接身体検査書

●県立障がい者高等技術専門学院

☎078-927-3230

募集

Windows ビスタ・セブン

入門・初級講座 受講生募集

Windows ビスタまたはセブン搭載のパソコンをご持参ください。

【ワード入門講座】

■日時 10月12日(水)、14日(金)、19日(水)

■申込期限 9月28日(水)

【デジカメ画像かんたん編集講座】

■日時 10月21日(金)、26日(水)、28日(金)

■申込期限 10月7日(金)

★コース共通

■開催時間

午後7時30分から2時間

■開催場所 上月文化会館

■受講料 1,500円

■募集人数 各20人

●上月支所地域振興室

☎86-1210

お知らせ

兵庫農政事務所を再編

農林水産省の組織再編のため、兵庫農政事務所地域第一課(所在地は姫路市)と姫路統計・情報センターが、9月



米田地区 ②



林崎地区 ①



東徳久地区 ③



東徳久地区 ③



宝蔵寺地区 ④



漆野・本村地区 ⑤



西下野地区 ⑥

全国から8万人が来場

佐用町南光ひまわり祭り

今年も7月から8月中旬にかけて、町内各地でひまわりが咲き誇りました。また、7月16日から7月31日まで南光スポーツ公園周辺で開催された「佐用町南光ひまわり祭り」には全国から8万人が来場し、訪れた多くの観光客でにぎわいました。

- ①一面に咲くひまわり畑の前で記念撮影
 - ②中安小学校・保育園周辺で咲いたひまわり
 - ③世界のひまわり畑で記念撮影（写真上）
ひまわり迷路を歩く親子（写真下）
 - ④ひまわり畑の脇を走るJR姫新線
 - ⑤この夏最後に咲いた漆野・本村地区のひまわり畑
 - ⑥ひまわり畑でカメラを向ける人たち
- ①物産コーナーで買い物する人たち
 - ②おもしろ自転車を楽しむ子どもたち
 - ③JR姫新線の利用促進をPRするミニSL
 - ④町観光イメージキャラクターおさよんと記念撮影

今年も咲き誇った150万本の「復興のひまわり」



①



②



③



④